

知識ダイナミクス社会の実現のための知識基盤の構築

研究開発代表者： 武田 英明 国立情報学研究所 情報学プリンシプル研究系 教授



目的： 専門分野のオントロジーを構築する基盤を作り、多様な分野の知識が繋がる世界を作る

研究概要：

1. どんな課題：

- 現代社会においては職業等の社会的な役割を果たすにはその分野の知識が必要。
- その知識をコンピュータと人間が理解できる形に抽出すれば、より社会への参画が容易になる。
 - > 専門分野オントロジーの構築
- そのような分野ごとの知識を容易に抽出・構築できる基盤を作る。
 - > 専門分野オントロジー構築のワークフローのパターン化

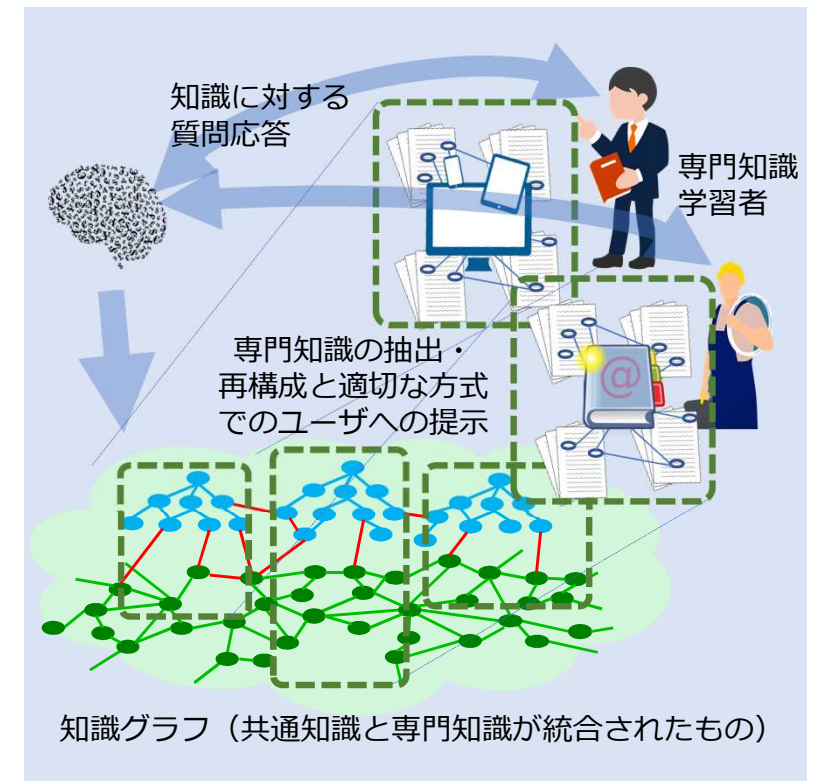
2. どのように取り組むか：

- 専門分野オントロジーの構築
 - > 分野の専門家とオントロジーの専門家の協業
 - > 共通知識を利用したコンピュータ支援による概念抽出
- 専門分野オントロジー構築のワークフローのパターン化
 - > 分野の多様性、知識の多様性によるパターンの発見
 - > パターンごとのシステム支援の方策のデザイン

3. どこがチャレンジか：

- 広範な分野での知識の共通性や差異性の発見に挑戦
- 分野を超えて繋がる知識のネットワークを作る

4. どんなことが期待されるか： 知識レベルのフラット社会の実現



Improving intellectual capability to enhance “a Socially Active Life” for overcoming the reducing labor force

Building of Knowledge Infrastructure to Realize Knowledge Dynamics Society

Project Leader : Hideaki TAKEDA
Professor, Principles of Informatics Research Division,
National Institute of Informatics (NII)



Summary :

Creation of connectivity among professional knowledge and common knowledge

1. What is the problem?
 - Needs for portability of professional knowledge to enable dynamic and sustainable society
2. What is the aim?
 - Create systematic method to create ontologies for professional domains.
 - Inclusive approach
 - System support for concept discovery
3. What is the expected result?
 - Knowledge network across various domains through common knowledge

